

「地租改正」をご存じですか？明治5年、政府は農地の税率を地価を3%として課税。この税の本質は、農民に課税して、明治政府の財政基盤を確立することでした。そして、明治政府は殖産興業の名の下に、富岡製糸工場など官営工場を次々と作りました。やがて、それらは豪商に極端に安く払い下げられ、日本の資本主義の発展の基礎となりました。

つまり、色々、美名は掲げたが、「税制」を通じて、農民から富を奪い、資本家に回したと云うことです。

今はどうでしょうか？ゼロ金利政策で貯金には殆ど利子が付きません。一方、安い資金を借りたファンド等は、投資で大儲け。つまり、ゼロ金利とは「庶民から利子を奪い、金持ちに回す政策」その物だったのではないのでしょうか？

--- ブリキのおもちゃ ---



旗、ジャムなどを詰める瓶、クッキーを入れる透明な小袋等々。

妻が、ジャム作りにほうろうの鍋が欲しいというので、そのかっぱ橋に行きました。ほうろう鍋は入手できませんでした。最早日本では作っていないそうで、プロは重い銅の鍋を使うとか。

そのかっぱ橋商店街で上のようなブリキの金魚のじょうろを見つけました。そこで思い出したのは昭和25～6年、四～五歳のころ買って貰った右のような消防自動車です。弾み車がついていて、ウーウーと音を出しながら走ります。家の向かいが消防署だったので、嬉しくなって、消防署のおじさん達に見せに行きました。ある時、一部の部品が外れ、内側が見えました。すると、ブリキの内側に缶詰の様子が現れました。そうです。その頃は缶詰の空き缶を平らにのばして、これらブリキのおもちゃの材料にしていたのです。

東京の台東区には「かっぱ橋道具街」があります。そこでは、お料理に関するありとあらゆる道具があります。レストランを開こうと思ったら、ここに来れば、台所道具、お皿などの陶器、お椀、お箸、ナイフ、フォーク、お店のテーブル、椅子。のれん。ウィンドウに飾るお料理のサンプルなど何でも揃います。売出しの

